

発言No.

18

受付No.

4

令和5年2月13日

13時 11分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 石見神楽振興について

市長は令和5年度の施政方針で、観光振興において石見神楽の振興に力を入れると改めて表明されています。この石見神楽は1970年大阪万博を契機に世界へその存在をアピールし、半世紀の歴史を経て2019年には浜田で生まれた石見神楽産業等を含めたストーリー「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」として日本遺産に認定されました。令和4年度は初の「国立劇場公演」を成功させ、市長も日本遺産「石見神楽」を全国に向けてアピールすると共に、「本物は浜田にある」として神楽産業の育成や神楽振興の必要性を提唱されています。

(1) 浜田市議会「石見神楽振興議員連盟」について

- ① 浜田市議会として、浜田市が世界に誇る「石見神楽」を総合的な振興策に対して全力で応援するため、この度「石見神楽振興議員連盟」を設立いたしました。このことについて市長のご所見を伺います。

(2) 神楽社中、保存会、同好会等に対する運営支援について

- ① コロナ禍による出演機会激減により各社中は財政難で大変だと聞いております。当市において観光戦略の柱として推進するためにも、各社中の体力を維持・回復させなければなりません。これまで以上に財政支援等を検討されているのか伺います。
- ② 石見神楽振興に係る「ふるさと納税」の納税者の思いは形になっているのか伺います。

(3) 石見神楽を介した全国自治体との交流事業について

- ① 今回、都内江東区「富岡八幡宮」で奉納神楽を実施される経緯を伺います。
- ② これまでの全国自治体との交流事業の内容と実績を伺います。
- ③ これからの石見神楽を活用した関係人口獲得戦略について伺います。

(4) (仮称) 石見神楽伝承館の設置検討について

- ① これまで幾度となく関係団体からの陳情や個人一般質問で、拠点施設設置に関する提案、本物の石見神楽が体感できる「まち」の必要性を訴えてきました。今回神楽の郷として(仮称)「神楽伝承館」設置検討に着手するとのことですが、そのビジョンを伺います。

(5) 各地域神楽協議会の組織一本化の実現について

- ① 浜田市でも、それぞれ旧自治区に神楽協議会が存在していますが、現在一本化されていない弊害が随所に表われております。特定のところの地域の神楽団体だけでなく、オール浜田として取組んでいく姿勢が大事であると思いますが、どのように進めていくのか伺います。

2 養殖事業の可能性について

当市において一次産業は停滞しており、特に水産業については 50 億円近くあった水揚げは、現在 40 億円を切る状態で R4 年には約 35 億円まで減少しています。併せて船団の減少、老朽化した船、漁業者の高齢化・後継者不足などの諸問題等もあり、水産都市浜田の水産業はこのままでは危機的な状況に陥っていきます。水産資源の減少をカバーするためにも「獲る漁業から、陸上養殖による育てる漁業」に着手しチャレンジするべきだとの思いから、以下質問します。

- ① R5 年度は、改めて大手水産会社と浜田漁港周辺における養殖事業の可能性について調査研究するとのことですが、具体的に何を何年までにどの位の商業プラントまで建設していきたいのか、そのビジョンを伺います。
- ② 浜田漁港周辺だけではなく、一つの可能性として、中山間地域での耕作放棄地などでも少量の地下水や上水でも陸上養殖ができる千葉県木更津市にある株式会社 FRD ジャパン木更津プラントの閉鎖循環式養殖システムを産業建設委員会でこの度、現地視察してきました。ここでは「トラウトサーモン(大型ニジマス)」を養殖していて、多くの自治体が可能性を求めて視察に来るそうです。また、全国には陸上養殖に向いている「バナメイエビ」や温泉水を使った「トラフグ」の養殖などがありますが、浜田市は大手水産会社以外に陸上養殖を考えていないのか、調査・研究していないのか伺います。